

## 令和3年度 播磨町水道事業報告書

### 1 概況

#### (1) 総括事項

本年度の給水業務状況は、給水装置数が前年比で190栓（1.2%）増の16,643栓、給水人口は18人（0.1%）増の34,727人となりました。

一方で、年間有収水量は46,724m<sup>3</sup>（1.3%）減の3,535,891m<sup>3</sup>となりました。減少の要因としては昨年度、コロナ禍における巣ごもりにより増加していた一般家庭での水需要が減少したことが考えられますが、いずれにしても今後の水需要は、給水人口の減少と節水意識の向上に伴い、減少傾向にあると思われるため、水道事業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

管路布設工事については、大中地区（第2工区）基幹管路布設替工事のほか、大中地区（第4-2工区）配水管布設替工事、宮西地区配水管布設替工事（3工区）、令和3年度古田3丁目老朽管更新工事を行いました。

浄水場関連施設では取水井浚渫清掃工事（5号・31号取水井）、第3浄水場無停電電源装置更新工事等を行いました。

経営状況（税抜）については、総収益が612,916,729円に対して、総費用が499,372,616円で、当年度純利益113,544,113円を計上しました。

水道事業収益の主なものは、水道料金505,864,255円（82.5%）、長期前受金戻入[※注]80,099,829円（13.1%）で、収益全体の95.6%を占めています。

一方、水道事業費用の主なものは、減価償却費186,660,432円（37.4%）、支払利息及び企業債取扱諸費16,520,517円（3.3%）、職員給与費43,801,872円（8.8%）、県水受水費55,403,203円（11.1%）、動力費37,868,974円（7.6%）で費用全体の68.2%を占めています。

以上の結果、供給単価は143.07円、給水原価は117.90円になりました。

資本的収支（税込）については、総収入額が176,952,130円に対して、支出は建設改良費が250,165,529円、企業債償還金126,486,241円、投資100,000,000円で総支出額476,651,770円となりました。

なお、不足する299,699,640円については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額14,083,610円、減債積立金71,906,477円、建設改良積立金50,374,000円、過年度分損益勘定留保資金163,335,553円で補てんしました。

以上が令和3年度における経営並びに事業実施の概要です。今後も住民の皆様に安全で低廉な水を安定的に供給するため、水源の確保と効率的な事業運営に取り組み、公共の福祉の増進に努めてまいります。

#### [※注]

地方公営企業会計制度の見直しにより、平成26年度から償却資産の取得又は改良に伴い交付される補助金等については、「長期前受金」として負債（繰延収益）に計上した上で、減価償却見合い分を「長期前受金戻入」として順次収益化する。（地方公営企業法施行令第26条、地方公営企業法施行規則第21条）

(2) 経営指標に関する事項

経営の健全性を示す経常収支比率は、給水収益が横ばいにある中、老朽化した浄水場施設の改修に伴う修繕費の増加などにより、前年度比7.25ポイント減の122.75%となりましたが、健全経営の水準とされる100%を上回る状況にあります。

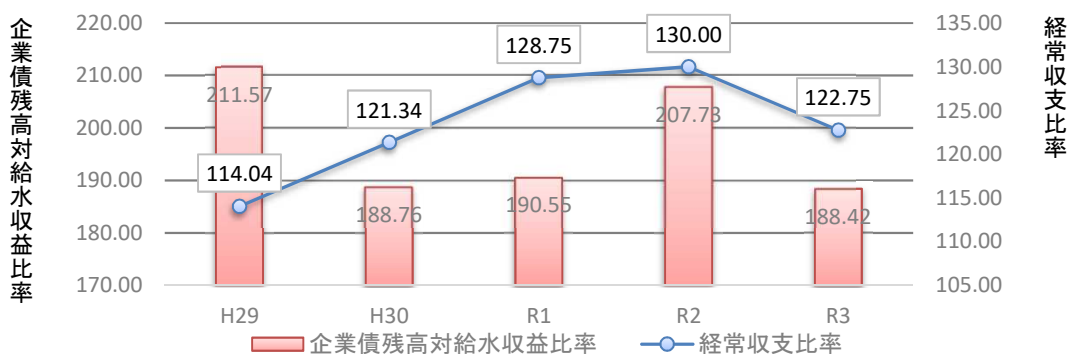
また、企業債の残高については令和元年度から借入を再開しましたが、それ以前の借入分の償還が進み、企業債残高対給水収益比率は19.31ポイント減の188.42%となりました。

一方、償却対象資産の減価償却の状況を示す有形固定資産減価償却率は前年度比0.41ポイント減の56.33%、法定耐用年数を経過した管路延長の割合を示す管路経年化率は前年度比20.53ポイント増の41.38%と施設の老朽化が進んでいるのに対して、当該年度に更新した管路延長の割合を示す管路更新率は前年度比0.02ポイント減の0.55%に留まっています。これは、令和元年度から大口径の基幹管路の更新を優先的に実施しているためですが、管路の老朽化が急速に進んでおり、財源を確保した上で更新のペースをさらに上げていく必要があります。

単位：％

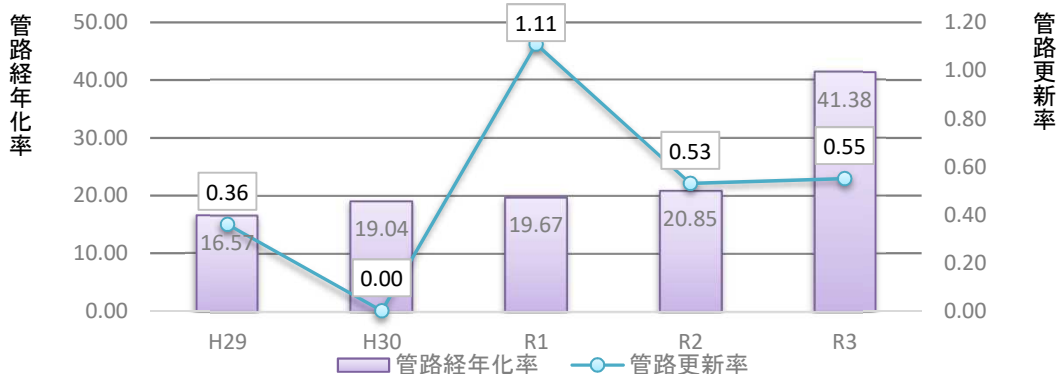
	H29	H30	R1	R2	R3
経常収支比率	114.04	121.34	128.75	130.00	122.75
企業債残高対給水収益比率	211.57	188.76	190.55	207.73	188.42
有形固定資産減価償却率	56.49	58.63	55.70	56.74	56.33
管路経年化率	16.57	19.04	19.67	20.85	41.38
管路更新率	0.36	0.00	1.11	0.53	0.55

経常収支比率・企業債残高対給水収益比率の推移



※R2の企業債残高対給水収益比率は基本料金減免があったことにより一時的に上昇している。

管路経年化率・管路更新率の推移



※R3管路経年化率の増加は、不明管調査により台帳修正を行ったことによる。